

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
110021	X-01/31-A-1-110021				×	×	×
授業科目	担当教員				×	×	×
情報文化	高木 義和	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1年次生】経営情報学部経営学科 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎 基礎 基礎 基礎 基礎 基礎 基礎	選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択	1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年

授業目的

情報文化は、社会、組織、民族、国民が持つ、情報に関する意識・感性・関心・価値観と定義することができる。また、情報の収集・保管・処理・伝達やコミュニケーションなど各種の情報行動に関する社会様式・生活習慣と定義することもできる。授業では情報技術から生みだされた新しい行動様式/生活様式や新しい社会様式を情報文化ととらえ、情報技術が個人の行動や生活様式に与えた影響や、社会、組織、国民に対してどのような対応や変革を要請しているかを紹介する。自己のアイデンティティを把握し、自らの視点で社会の情報化やグローバル化に向き合う態度の習得をめざす。

各回毎の授業内容

第1回

【授】1 情報文化の枠組み

【前・後】【事前】パワーポイントのファイルをUPするので事前にプリントアウトして内容を確認してください。(2時間)・【事後】板書あるいはパワーポイントの内容を復習しておいてください。(2時間)

第2回

【授】2 情報通信技術

【前・後】【事前】パワーポイントのファイルをUPするので事前にプリントアウトして内容を確認してください。(2時間)・【事後】板書あるいはパワーポイントの内容を復習しておいてください。(2時間)

第3回

【授】3. 情報通信技術から生みだされた新しい行動様式

～利便性の追求＆時間の拡大

【前・後】【事前】パワーポイントのファイルをUPするので事前にプリントアウトして内容を確認してください。(2時間)・【事後】板書あるいはパワーポイントの内容を復習しておいてください。(2時間)

第4回

【授】4. 情報技術が個人の情報処理に与える影響

～選択行動・断片化

【前・後】【事前】パワーポイントのファイルをUPするので事前にプリントアウトして内容を確認してください。(2時間)・【事後】板書あるいはパワーポイントの内容を復習しておいてください。(2時間)

第5回

【授】5. 情報技術から生みだされた新しい社会様式

～化社会の効率化・管理/監視社会

【前・後】【事前】パワーポイントのファイルをUPするので事前にプリントアウトして内容を確認してください。(2時間)・【事後】板書あるいはパワーポイントの内容を復習しておいてください。(2時間)

第6回

【授】6. 人間と情報技術の役割

【前・後】【事前】パワーポイントのファイルをUPするので事前にプリントアウトして内容を確認してください。(2時間)・【事後】板書あるいはパワーポイントの内容を復習しておいてください。(2時間)

第7回

【授】7. 地域社会と機能別コミュニティ

【前・後】【事前】パワーポイントのファイルをUPするので事前にプリントアウトして内容を確認してください。(2時間)・【事後】板書あるいはパワーポイントの内容を復習しておいてください。(2時間)

第8回

【授】8. インターネットコミュニティの特性

【前・後】パワーポイントのファイルをUPするので事前にプリントアウトして内容を確認してください。・板書あるいはパワーポイントの内容を復習しておいてください。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							80
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

成績は定期試験と授業内レポートの結果で評価する。学期末に行う筆記試験は、1. 情報技術と人の行動/生活様式（1から6回目）、2. 社会構造の変化とグローバル化（7から12回目）、3. 情報行動とアイデンティティ（13～15回目）の3分野から1問ずつ、計3問を出題する。試験は講義に基づいた問題を出題するが、資料の持ち込みは禁止です。

授業に1/3以上欠席した場合は受験資格がありません。

授業内レポートのフィードバックの方法は個人情報を削除した見本となるレポートの紹介とレポート全体の講評により行う。

教科書参考書

パワーポイントのファイルをUPする。

その他必要に応じて配布する。

受講に当たっての留意事項

ノートを良く整理すること。

受講中の私語を慎むこと。

学習到達目標

(1) 情報通信技術が個人や社会に大きな影響をあたえていることを理解する。 40%

(2) 情報化が社会構造の変化やグローバル化と密接な関係を持っていることを理解する。 40%

(3) 情報行動には自己のアイデンティティの把握が必要なことを理解する。 20%

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習